

土曜子ども教室 [11月のポイント!]



茶室と茶道具

江戸時代の大名家では、将軍や将軍の使者「上使」といった大切なお客さまがいらした際には、まず茶室に案内して、大名家の大事な茶道具でもてなしました。尾張徳川家の人々が住んだ名古屋城二の丸御殿には、「猿面茶室」と呼ばれる茶室がありました。

徳川美術館の第2展示室(名品コレクション展示室)には、復元された「猿面茶室」があります。

猿面茶室

猿面茶室は、慶長15年(1610)に、名古屋城が作られた時、清須城から移築されました。

「猿面」の名前は、床柱の上部を削ったところが猿の顔に似ているところから、名付けられたと言われています。

茶室の入り口近くには「刀掛」があり、「にじり口」からくぐって、中に入ります。



猿に見えるかな？



問題1

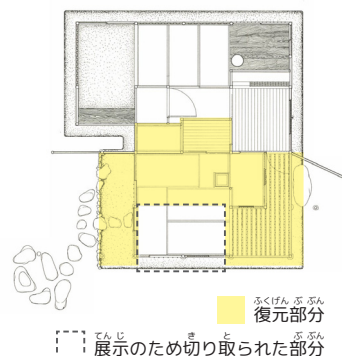
この棚には何を置くのかな？

- ① 靴
- ② かばん
- ③ 服
- ④ 刀

問題2

お客さまはどこから茶室に入るのかな？

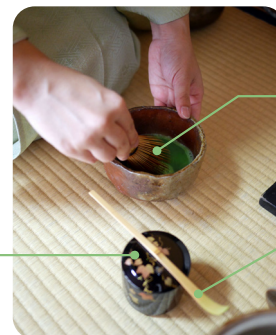
- ① A
- ② B



じぶん ちゃ た ひと そうぞう
自分がお茶を点てる人になって想像してみよう!

まつちゃ た かた
抹茶の点て方

- 1 茶器の中から抹茶を茶杓ですくって、茶碗に入れます。
- 2 釜から柄杓を使ってお湯をくみ、茶碗に入れます。
- 3 茶筌でしっかり混ぜ合わせ、お茶を点てます。



ちゃせん
茶筌
抹茶を点てる

ちゃしゃく
茶杓
抹茶をすくう

みずさし
水指

みず い
水を入れる

ちやわん
茶碗

ちや うつわ
お茶をのむ器

かま
釜

ゆ わ
お湯を沸かす

ひしゃく
柄杓

ゆ
お湯をくむ

ちや た ひと ちやわん
お茶を点てる人は茶碗と
茶入の前に座ります。

ちやいれ ちゃ き なつめ
茶入 茶器 棗

まっちゃ い よう ち
お抹茶を入れる容器

NO. 22 なんばんみつきちやいれ めい このは ざる
南蛮耳付茶入 銘 木葉猿

とうなん つく うつわ そう げ そう きば ふた
東南アジアで作られた器。象牙(象の牙)で蓋を
作り、茶入として使われています。胴にある模
様が、木の葉にまざれている
猿に見えるところから名前が
付けられました。



ざる み
猿を見つけられるかな?

NO. 18 せい じ しもかぶらがたはないけ
青磁下蕪形花生

はな い うつわ あおい
花を生ける器です。きれいな青色だね。
下の方がふくらんだ「下蕪」という形。



NO. 25 し どうむかい じ しこうろ
紫銅向獅子香炉

こう うつわ
お香をたく器です。
口から香りがただよいます。
おもしろい形の獅子だね。



もん だい
問題 3

NO. 20 からものちやつぽ めい ほう がん
唐物茶壺 銘 判官

この中に何を入れたでしょう?

- 1 お茶の葉っぱ
- 2 砂糖
- 3 水



だい ぶつ
大名物



めい
銘とは

お茶の世界では、優れた茶壺や茶碗、茶入などの
茶道具にニックネームのように名前を付けました。
その名前を「銘」といいます。
道具の姿・形、持っていた人の名前、背景にある
物語にちなんだ言葉などから「銘」が付けられます。

もん だい
問題 4

NO. 24 かき へた ちゃ わん
柿の蒂茶碗

あなたなら、この茶碗に
どんな「銘」(名前)を付ける?

めい
銘



徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017 TEL052-935-6262
<https://www.tokugawa-art-museum.jp/>